

キャンプ・ハンセン内における山火事に対する意見書

去る2月14日に、キャンプ・ハンセン内レンジ2付近にて米軍実弾演習に起因した山火事は、米軍が正式に鎮火宣言を行った翌朝の7時まで、長時間にわたって燃え続け、自然環境を破壊し、多くの町民に不安を与えた。

火災はふもとから山の頂上付近まで延焼し、沖縄県民の怨嗟の的となっているMV-22オスプレイによる消火活動は、同機による騒音被害はもとより、民間地域に墜落するのではないかという、多大なる恐怖感を住民に与えた。

火災がおこる度に、金武町議会は抗議を繰り返してきたが、何ら改善のきざしが見られず、怒り千万である。真に実効性のある解決策を早急に提示して、町民の安寧な生活を保障すべきである。

よって、金武町議会は、自然環境及び町民の生命・財産を守る立場から、下記事項が、速やかに実現されるよう地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 火災につながる全ての実弾射撃訓練を中止すること

平成25年2月18日
沖縄県金武町議会



宛 先
内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
沖縄・北方対策担当大臣
外務省特命全権大使（沖縄担当）
沖縄防衛局長

可決

平成 25 年 2 月 18 日
金武町議会議長 仲里全孝



キャンプ・ハンセン内における山火事に対する抗議決議

去る2月14日に、キャンプ・ハンセン内レンジ2付近にて米軍実弾演習に起因した山火事は、米軍が正式に鎮火宣言を行った翌朝の7時まで、長時間にわたって燃え続け、自然環境を破壊し、多くの町民に不安を与えた。

火災はふもとから山の頂上付近まで延焼し、沖縄県民の怨嗟の的となっているMV-22オスプレイによる消火活動は、同機による騒音被害はもとより、民間地域に墜落するのではないかという、多大なる恐怖感を住民に与えた。

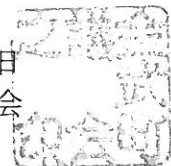
火災がおこる度に、金武町議会は抗議を繰り返してきたが、何ら改善のきざしが見られず、怒り千万である。真に実効性のある解決策を早急に提示して、町民の安寧な生活を保障すべきである。

よって、金武町議会は、自然環境及び町民の生命・財産を守る立場から、下記事項が、速やかに実現されるよう断固要求する。

記

1. 火災につながる全ての実弾射撃訓練を中止せよ

平成25年2月18日
沖縄県金武町議会



宛 先
在日米国大使
在沖米国総領事

可 決

平成 25 年 2 月 18 日
金武町議会議長 仲里全孝

